

働く男のライフスタイル情報紙

Biz [ビズスタ東京] Life Style 特別版

2018 12

『Biz Life Style』は東京、神奈川、名古屋、関西、京都、仙台、福岡、広島、岡山にて68万部発行
下記URLまでアクセスを。www.biz-s.jp広告掲載に関するお問い合わせ・申込みは
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005
企画・制作／株式会社ディリースポーツ案内広告社
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TX Tower UENO 14F
©2018 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD

住んでみて、初めて分かった 品川区の魅力とは。



撮影場所:しながわ水族館(品川区勝島3-2-1 TEL.03-3762-3433)

東京2020大会の招致活動に参加した際、海外に出かける機会が増えて忙しくなりましたので、区の「すまいるスクール※」を利用させてい

一区の制度を何か利用されましたか?

次女が地元の小学校に入学したのですが、クラスメイトの親御さんがしっかりとおられることが印象的でしたね。二世帯でお住まいの方が意外に多くて、おじいちゃんおばあちゃんと一緒に住んでいる子の話を聞くと、ほのぼのとした気分になります。個人も、家族の絆を大事にするママ友が増えましたし、本当に恵まれた環境だなあ

とひしひと感じています。

一日常の子育ての面ではいかがですか?

そうそう(笑)。近隣のいくつかの区にも住んだことがあります。ですが、どこに行くにも車を利用していたんですね。自分がこんなに電車で移動するようになるとは思いませんでした。

「知っていたはずなのに」という感じですか?

結婚と同時期です。路線は多いし、電車の乗り継ぎもスマートで、「品川区ってこんな便利だったの?」と引っ越しから驚きました(笑)。羽田や成田にも行きやすいですね。

一品川区にはいつ頃からお住まいですか?

意外に知らない本当の品川区。品川区が実施したイメージ調査の結果では、区民からは「昔ながらの」「生活感がある」「下町らしい」というイメージが高い点数を獲得した。少し意外に思われたのではないだろうか。果たして本当なのか。

そこで今回は、実際に品川区にお住まいの女子アーティスティックスイミング選手、小谷実可子さんに単独インタビュー。住んでみての実感や日常の風景についてうかがった。



地域の方も協力「すまいるスクール」



小谷 実可子さん

「おもてなし」をがんばりたいですよね。シドニーオリンピックの聖火ランナーとして参加した時、地元の子どもたちの礼儀正しくて熱心な

東京2020大会の招致活動に積極的に活動されま

たが、区でも2つの競技が開催されます。

向けて積極的に活動されましたが、本当に多くの競技が開催されます。

「おもてなし」をがんばりたいですね。シドニーオリンピックの聖火ランナーとして参加した時、地元の子どもたちの礼儀正しくて熱心な

最後に、今後の目標をお

教えてください。

東京2020大会の成功はもちろんですが、それを契機に日本のスポーツ界をどう成長させていくのかについて考えたいと思っています。みんなの力で「ジガシー」にすべきイベントだと思いますので、私にできることは惜しまずお手伝いして、素晴らしい大会にしていきたいですね。

応援ぶりに感動しましたね。今度は私たちがお迎えする立場ですので、濱野区長にもリーダーシップを発揮していただき、「一緒に盛り上げていきたいですね」。

※「すまいるスクール」
学校設施を活用した全児童放課後対策事業。地域の方を講師として招き、スポーツや伝統文化の体験など、子どもたちの成長を育む。